

桜島の火山活動 —2005年11月～2006年2月—*

Volcanic Activity of Sakurajima Volcano, November, 2005 – February, 2006

鹿児島地方気象台

Kagoshima Local Meteorological Observatory, JMA

1. 火山活動度レベル

火山活動度レベルは2（比較的静穏な噴火活動）が継続している。

2. 活動概要

桜島の活動としては比較的静穏な状態が続いた。今期間の噴火回数は7回で、そのうち6回が爆発的噴火（以下、爆発）であった。1月下旬に微小なB型地震が増加したが、長期的には少ない状況が続いている。

(1) 噴火活動（第1表）

噴火¹⁾を7回観測し、そのうち6回が爆発だった。

(2) 噴煙活動（第2図の⑤）

灰白色または乳白色の噴煙を時々上げた。灰白色の噴煙高度の最高は12月9日の爆発に伴う1,500mだった。

(3) 地震・微動活動（第2図①～④～第5図）

火山性地震及び火山性微動は長期的には少ない状態で経過した。

1月下旬に微小なB型地震が増加し、日回数で130回を超える日もあった。

A型地震の震源は、主に南岳火口周辺直下の海面下1～5kmに分布した。

(4) 降灰の状況（第2図の⑥、第3図の④）

鹿児島地方気象台における降灰量²⁾は、2005年11月に1g/m²が観測された。

(5) 地殻変動（第6図）

GPS連続観測による地殻変動観測では、引き続き東西方向のわずかな伸びの傾向が見られる。

(6) 火口や噴気地帯の状況（第8図）

昭和火口付近は、これまでと同様に弱い噴気が出ていた。それ以外の旧火口では、噴気や温度異常域は見られなかった。

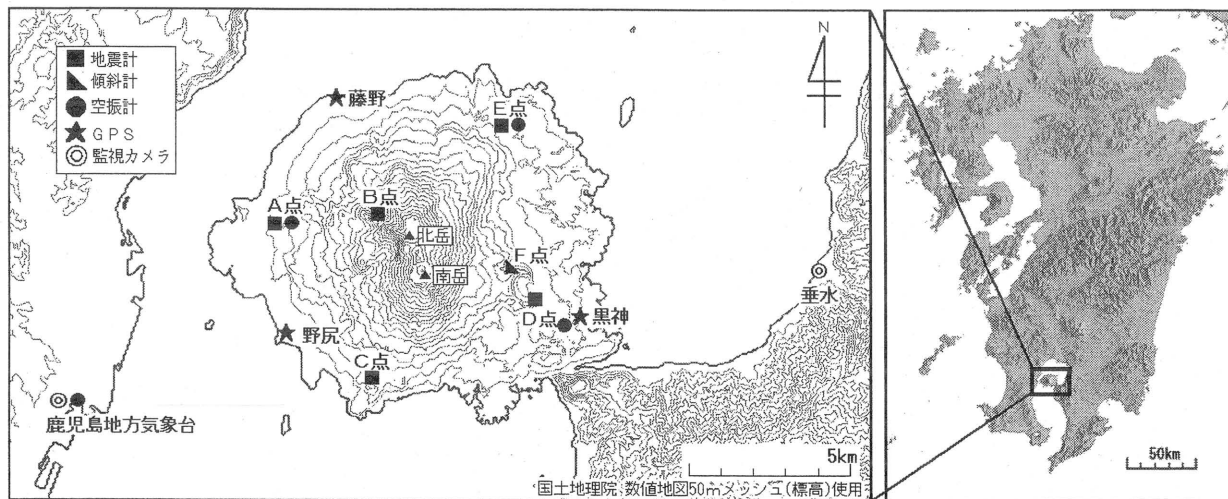
3. 火山情報の発表経過

本期間（2005年11月～2006年2月）、桜島の火山情報は発表していない。

- 1) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発的な噴火もしくは一定規模以上の噴火の回数を計数している。ここで示す噴火回数はこの回数を示す。
- 2) 鹿児島地方気象台（南岳の西南西、約11km）における前日09時～当日09時に降った1m²あたりの降灰量を観測している。

震央分布図等の資料作成にあたっては、気象庁のデータの他、鹿児島大学、京都大学、独立行政法人防災科学技術研究所のデータを使用している。また、地図の作成にあたっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ（標高）、25000分の1の地形図を使用している（承認番号：平17総使、第503号）。

* Received 24 April, 2006



第1図 観測点配置図

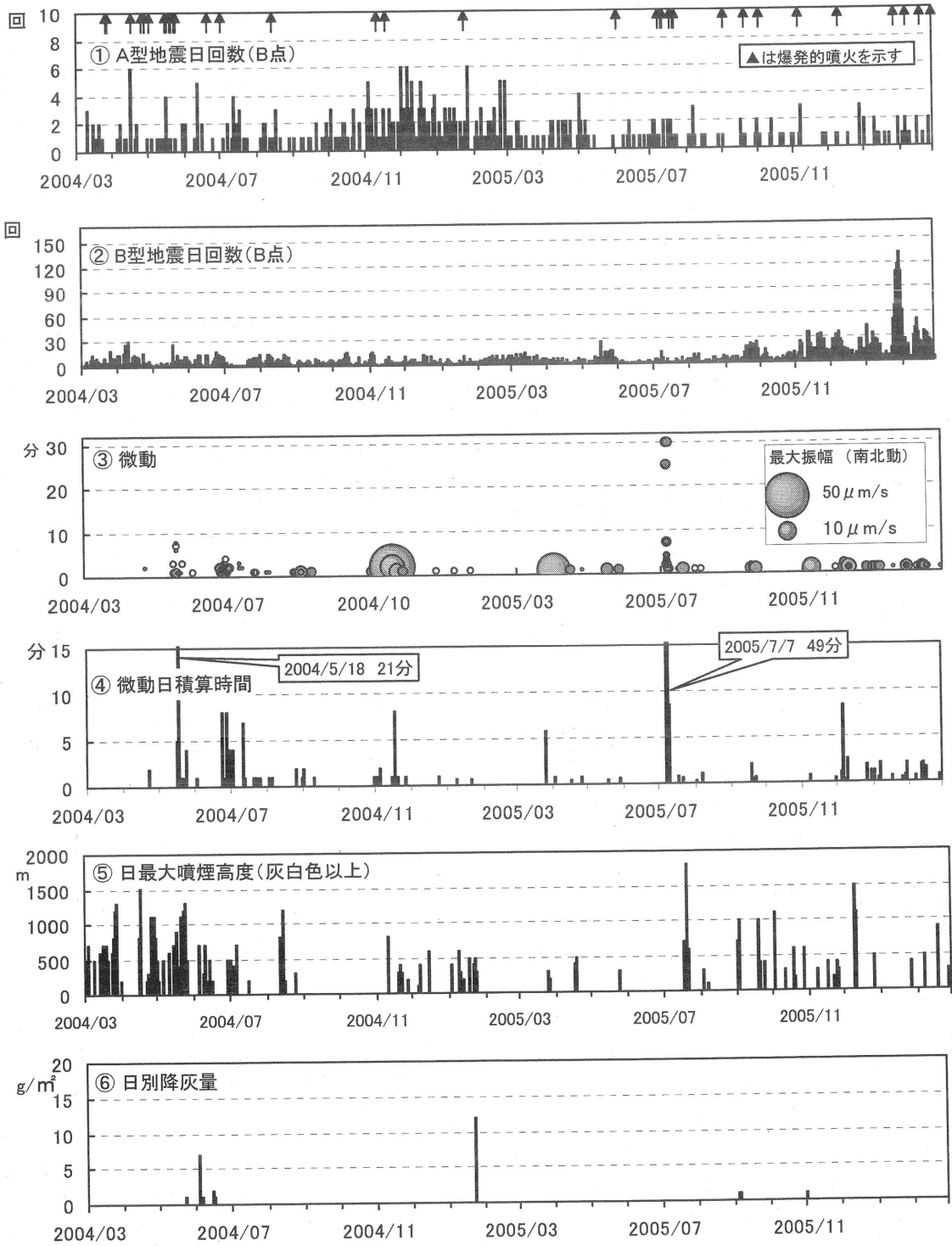
Fig.1 Location map of permanent observation sites of JMA around Sakurajima volcano.

第1表 桜島の爆発リスト (2005年11月～2006年2月)

Table 1 List of eruptions of Sakurajima from November 1 2005 to February 28 2006.

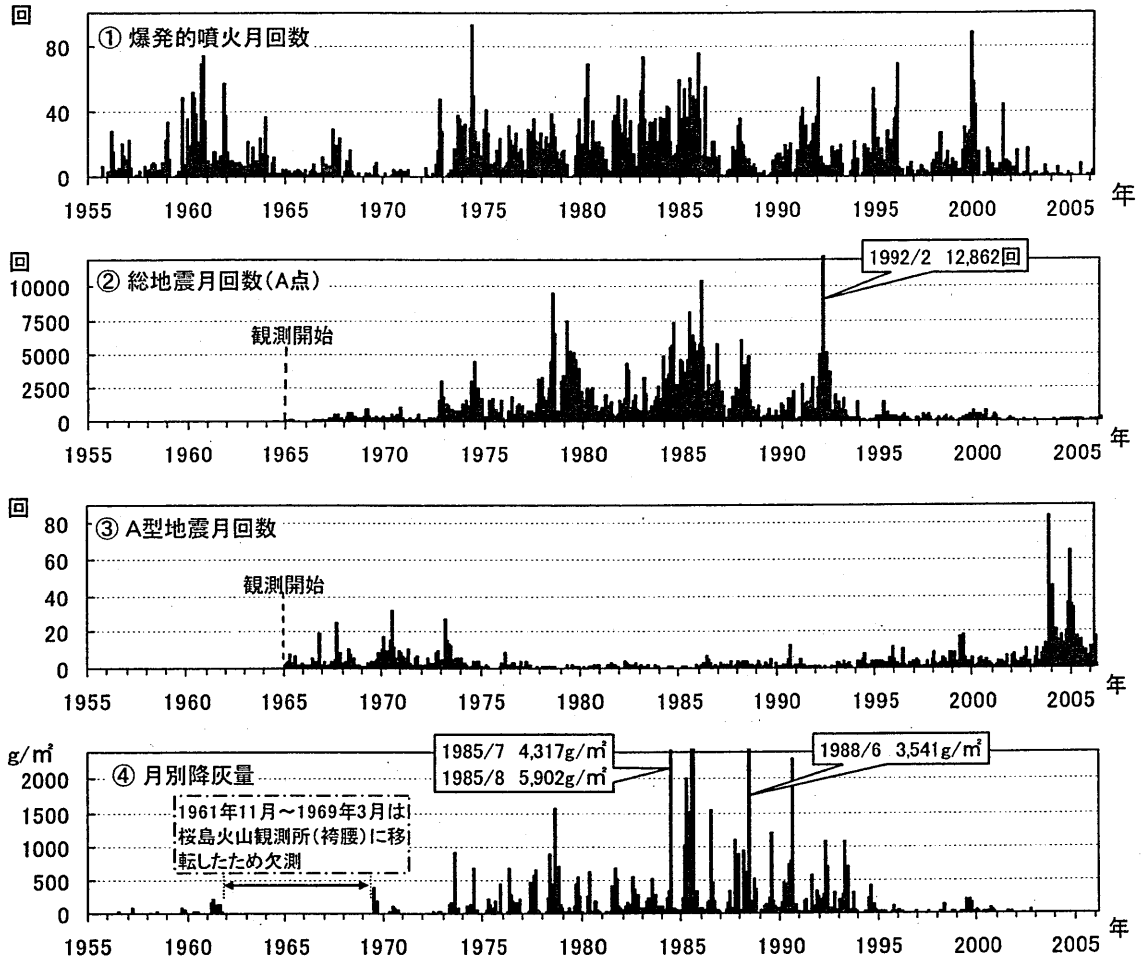
日時	噴煙			爆発音	体感 空振	噴石	備考
	色	量	高さ(m)				
2005/11/05 16:00	×	×	×	なし	なし	不明	天候不良のため噴煙は見えない
2005/12/09 22:46	不明	3	1,500	なし	小	少量7合目	夜間のため噴煙の色は不明
2006/01/26 06:51	灰白色	2	400	なし	なし	なし	
2006/02/06 07:25	灰白色	2	500	不明	不明	なし	強風のため爆発音・体感空振は不明
2006/02/18 10:25	灰白色	3	900	なし	なし	なし	
2006/02/28 20:31	×	×	×	なし	不明	なし	風雨のため体感空振は不明

- ・爆発を6回観測した。
- ・12月9日の爆発では、少量の噴石が7合目まで飛散するのを観測した。



第2図 最近2年間の火山活動経過図 (2004年3月~2006年2月)

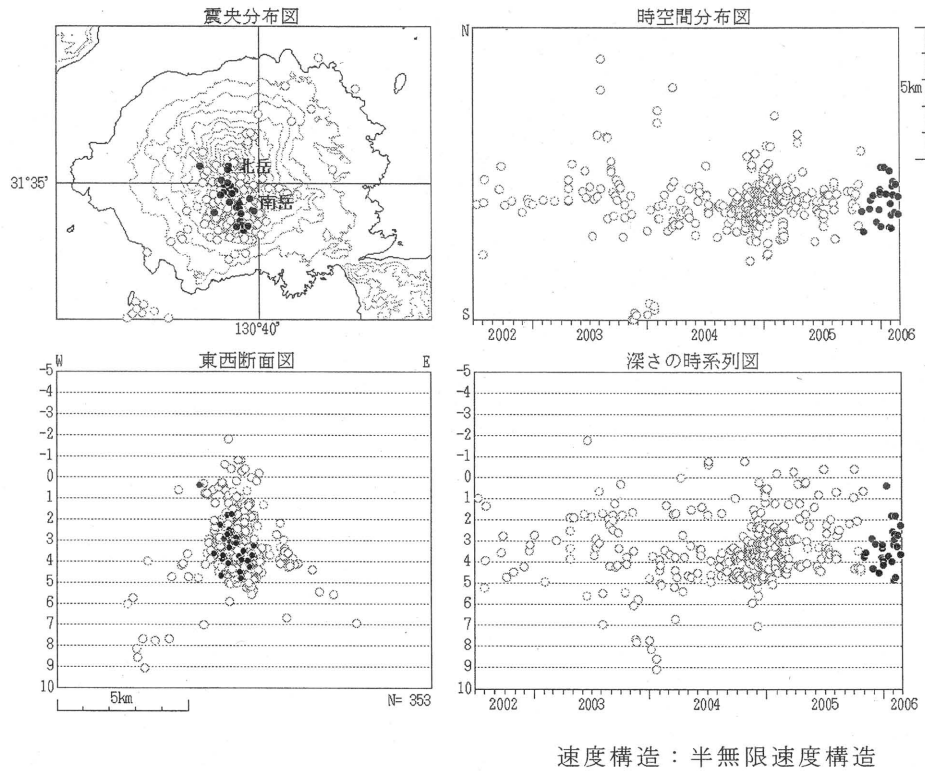
Fig. 2 Volcanic activities of Sakurajima from March 2004 to February 2006.



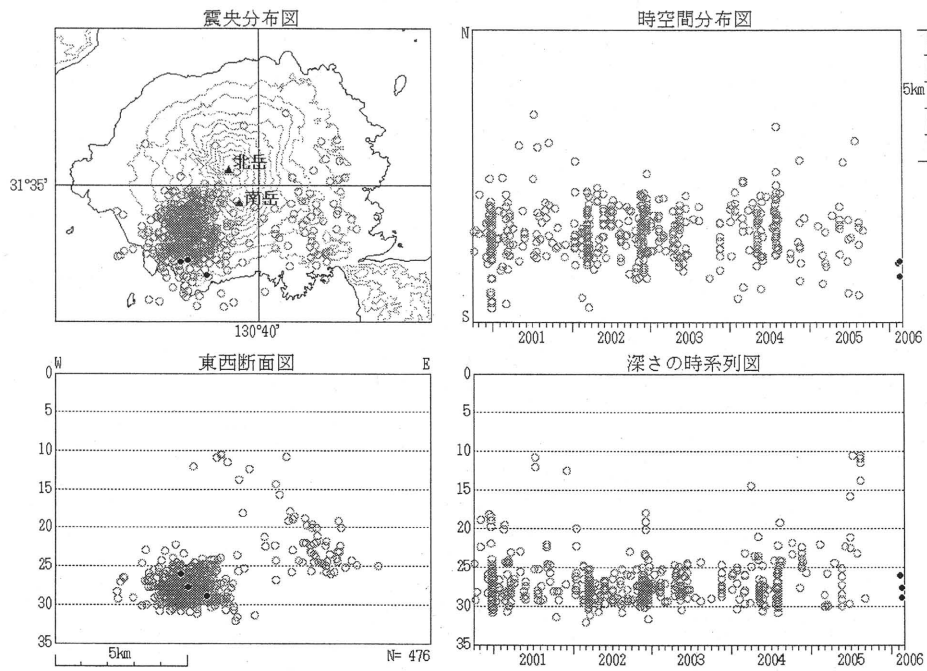
第3図 長期の火山活動経過図 (1955年1月～2006年2月)

Fig.3 Volcanic activities of Sakurajima from January 1955 to February 2006.

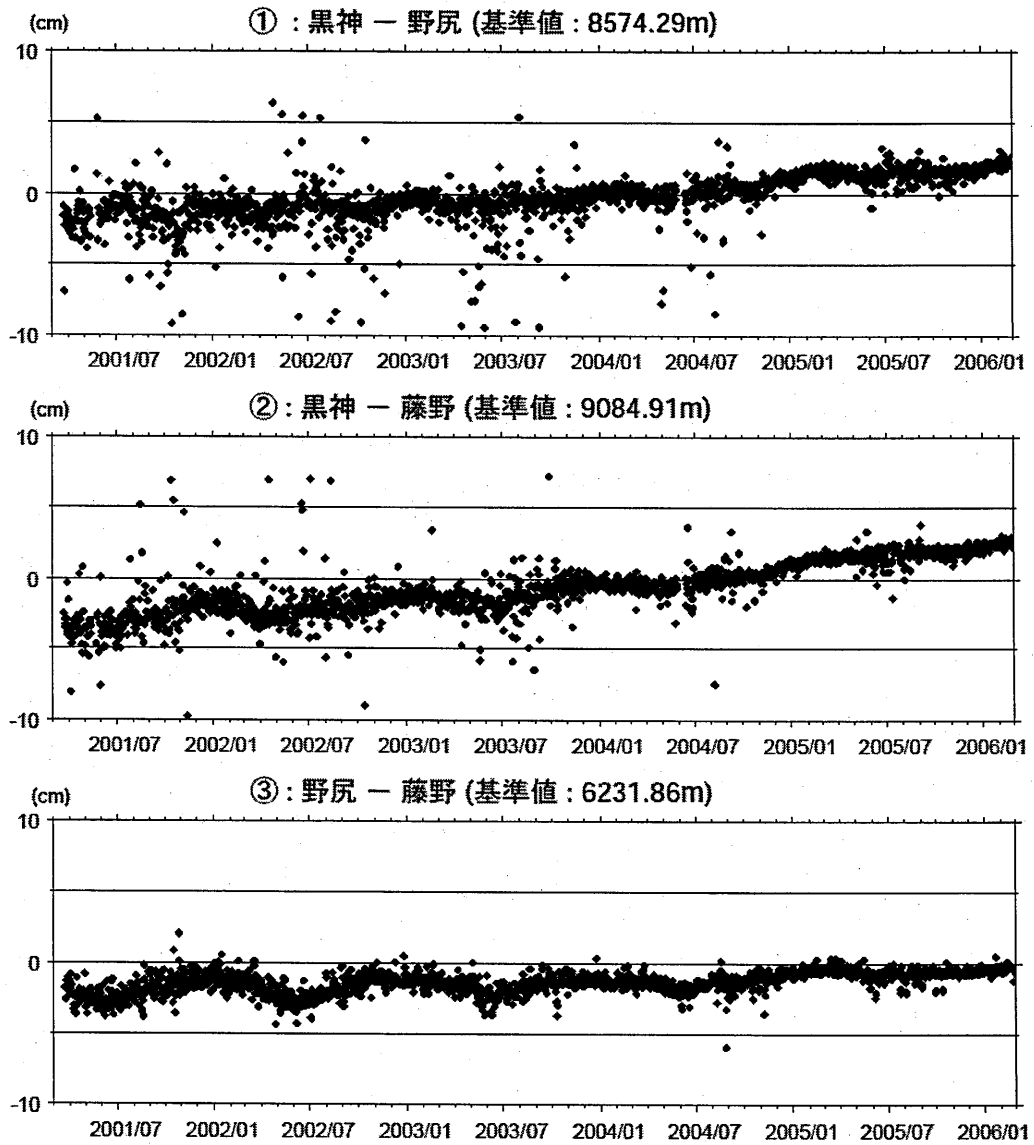
■ 火山性地震は長期的には少ない状態で経過した。



第4図 桜島の地震活動図(2002年7月~2006年2月)
 Fig. 4 Hypocenter distribution around Sakurajima Volcano (Jun. 1 2002 - Feb. 28 2006).
 Top left: Hypocenter distribution. Top right: Space-time diagram (N-S).
 Bottom left: Cross section diagram (E-W). Bottom right: Depth-time diagram.
 ■ 震源は、南岳火口周辺直下の海面下約1~5kmに多く分布した。



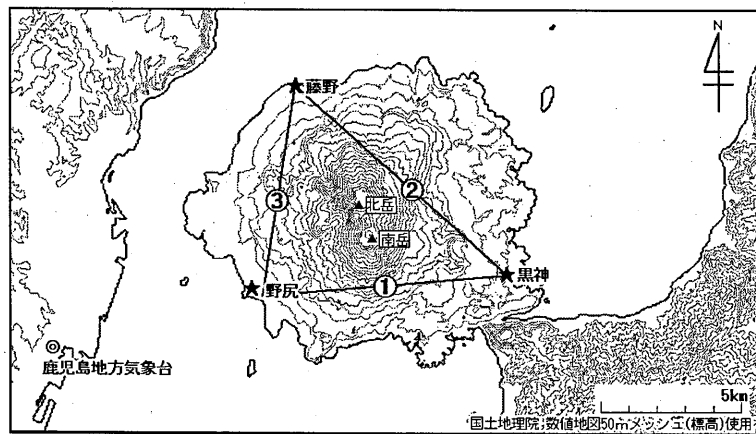
第5図 広域ネットによる深部低周波地震の地震活動図(2000年10月~2006年2月)
 Fig. 5 Deep low-frequency Hypocenter distribution around Sakurajima Volcano (Oct. 1 2000 - Oct. 31 2005).
 ■ 今期間観測された深部低周波地震は3個と少なかった。



※基線長変化グラフの空白部分は欠測

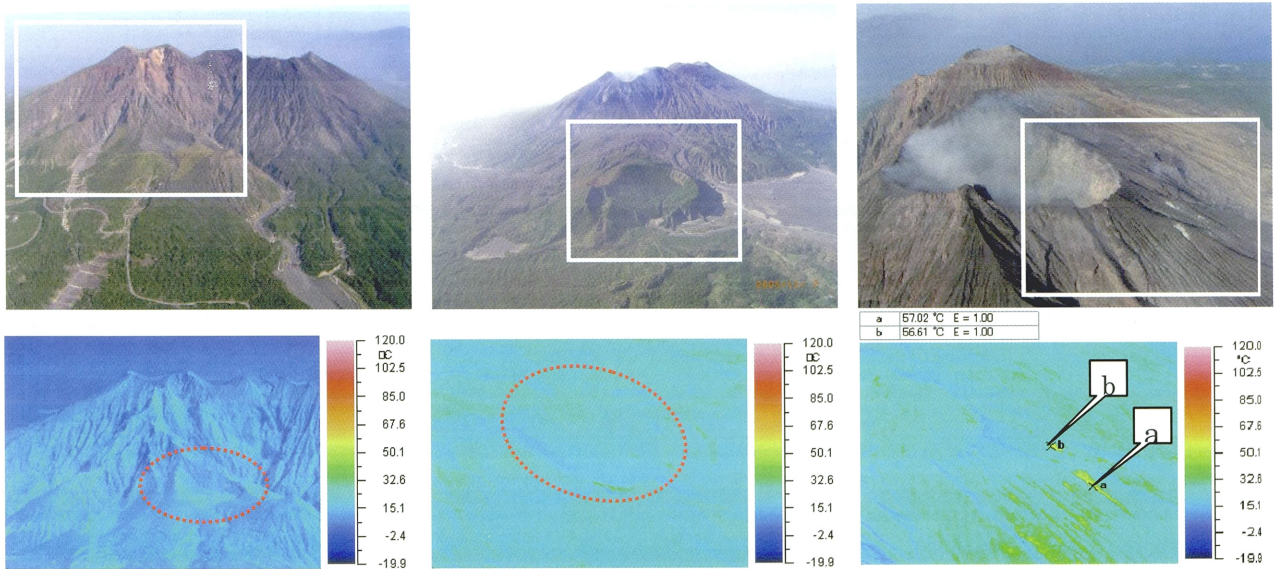
第6図 GPSによる基線長変化(2001年3月~2006年2月)

Fig. 6 Results of continuous GPS observations at Sakurajima from March 2001 to February 2006.



第7図 GPSによる連続観測の基線長

Fig. 7 Location of GPS observation stations at Sakurajima.



引の平

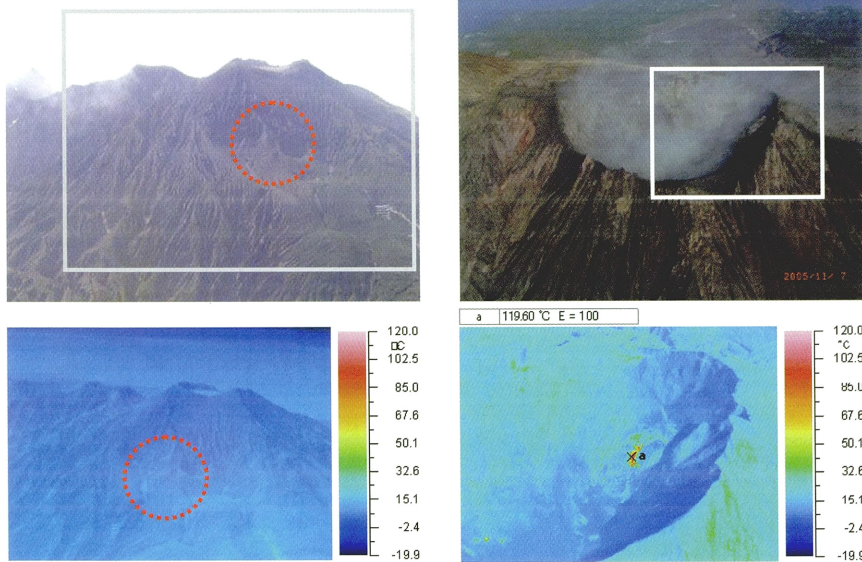
西南西方向から高度 1,300m で撮影
赤枠：大正 3 年 1 月大噴火の際、形成

鍋山

東南東方向から高度 1,300m で撮影
赤枠：大正 3 年 1 月大噴火の際、形成

昭和火口付近

南方向から高度 1,500m で撮影
昭和 21 年 1～11 月大噴火の際、形成
(a, b は約 57°C)



安永火口

北東側から高度 1,300m で撮影
赤枠：安永 8 年 11 月大噴火の際、形成

南岳B火口内

西方向から高度 1,500m で撮影
B 火口内東側火口壁のやや内側に高温域
が見られる (約 120°C)

第 8 図 上空からの観測結果 (上段：可視画像、下段：赤外熱画像)

Fig. 8 Visual and Thermal images Sakurajima crater (Nov 7 2005).

- 海上自衛隊鹿屋基地救難飛行隊の協力により、2005 年 11 月 7 日に機上観測を実施した。
- 昭和火口付近は、これまでと同様に弱い噴気が出ていた。その他の旧火口では、噴気や温度異常域はなかった。
- 南岳火口内は、噴煙とガスのため目視による観測は出来なかった。赤外熱映像装置では、B 火口内の東側火口壁より少し内側で高温域が確認できた。